

武豊町議会議員 石川 よしはる 殿

武豊町議会議員 南 賢治

一 般 質 問 の 通 告 に つ い て

令和 7 年第 4 回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質 問 事 項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
1. 中期財政計画並びに予算編成方針について	【趣旨説明】鳥羽町長におかれましては、4 月の選挙を終え、早くも 8 ヶ月が経とうとしています。 どうですか少しは、慣れましたか？ 今回の一般質問では、多々厳しいことを言いますが、武豊町発展の為、決して鳥羽町長へのイジメではありませんので、ご理解ください。 予算編成方針とは、そもそも、政策の重点事項や予算規模などの骨子及び予算要望の基本的なルールを文章化したものであると考えています。今回出た、中期財政計画と言うか、財政予測と言うか、とんでもない資料が出てきました。令和 12 年には、今ある 42 億ちよいある財政調整基金(民間で言う預貯金)がマイナス 4 億ちよいとなる表です。とてもおおざっぱな予測としか思えません。 令和 8 年度～令和 12 年度の財政予測ですが、鳥羽町長の令和 8 年度予算編成方針と照らし合わせると、令和 8 年度から歳入においては、国庫支出金も減るはずだし、県支出金も減るはず、そして又、歳出においては、人件費・物件費・普通建設事業費・繰り出し金も減るはず。どの様な試算でこの様な数字を出したのか全くわかりません。 以下質問します。 【質問事項】 ① どの様な試算でこの様な数字を出したのか ② 武豊町の広報においても令和 12 年には、今ある財政調整基金が、マイナス 4 億を超すとか、公開されました。町民にとっては、とても不安になる記事です。この記事に対する裏付け資料はあるのでしょうか？詳しくわかる資料を提示ください。 ③ この意図するところは、何でしょうか
2. 武豊町副町長について	【趣旨説明】町長においては、就任以来 8 ヶ月も過ぎようとしてますが未だ副町長が決まっておりません。これは、非常事態と思われます。 【質問事項】 ① 今後、どのように打破されていくのでしょうか？

3. 地方自治における首長（市町村長）における権限・発信などについて	【趣旨説明】 地方自治法の広報における内容に関する制限には、次な様なことが書いてあります。 公平性と中立性、広報誌やウェブサイトなどの広報媒体には政治的に中立な情報や行政サービスに関する客観的な事実のみを掲載することが求められます。また、特定の政治的主張や候補者を支援する内容は厳禁とされています。 民間事業との関係、民間事業者が行うイベントや類似施設等に関する案内記事を掲載する際は、他の事業者への影響を考慮し、一定の経済基準が設けられます。通常自治体が主催共催するもの以外は広告として扱い、有料とする場合があります、とも書かれています。 また、公序良俗に反する内容や名誉毀損、差別的な表現を含む内容は掲載されません。 以上の様なことは、町長個人の SNS 発信でも一緒であると考えます。以下質問します。 【質問事項】 ① 町長発信と個人発信は、どこでどのようにラインを引いていますか。 ② 今までに、趣旨説明で述べたような行為を行ったことはありますか。 ③ 箱物行政を批判した記事も目にしましたが、今までの武豊町における箱物行政の失敗とは、何をさしておっしゃるのでしょうか。 ④ 今現状で建設後の運用や活動計画が不十分である物件に対する費用対効果が取れてない箱物は、どこにあるどんな施設を指しているのでしょうか。
---	---

4. 防災対策 (治水・防災倉庫)について	【趣旨説明】 昨今ゲリラ豪雨や線状降水帯など、地球温暖化による異常気象が日本全国あちこちで増えております。一昔前は、田畑、ため池、森林が広がり、降った雨をしみ込ませたり、貯めたりする自然の機能がありました。都市化が進み市街地では、地表がコンクリートやアスファルトなどで覆われ雨はしみ込む場所を失い、大雨が降ると、雨のほとんどが直接下水道や河川に流れ出るようになってきています。このため、大雨が降ると、下水道や河川的能力を超えた薄いが道路などにあふれやすくなっています。 名古屋市では、降った雨を地中にしみ込ませたり、貯めたりすることで、下水道や河川に流れ出る雨の量を減らし、浸水への安全度を向上させるとともに、豊かで健全な水循環を復活させるため、雨水流失抑制を推進しています。雨水流失抑制とは、雨水を地中にしみ込ませたり一時的に貯めたりすることを言います。 雨水流失抑制設備には、浸透雨水ます、穴あき埋設管、透水性舗装、雨水タンクなどがあります。 浸水対策としては、皆様の敷地などから下水道や河川に雨水が流れ出すのを、少しでも減らすか遅らせることが大事です。 また、雨水の浸透により地下水が保たれます。これにより水循環機能が回復し土中水分の蒸発作用よりヒートアイランド現象の緩和などが期待できます。 雨水タンクにおいては、散水や、地震や災害のさいの停電などで、水道が止まった時など、使用後の浄化槽を流す水として利用できます。 町内においても、地下に貯水槽やあちこちに調整池があることは承知しています。しかし近年では予想を超えた未曾有の災害が増えていきます。震災で停電水道が止まっても、便所さえ使える状態であれば、流す水は、雨水のため水で十分と考えます。家の外にぜひ雨水のため水タンクが欲しい声も多い。 又、防災倉庫についてですが 資料、ちょっと古いですが、国土交通省の発表によると、1994年から2003年の10年間に、日本全土の97%で水害や土砂災害が起きています。 「南海トラフ巨大地震」「首都直下地震」が30年以内には、70%以上の確率で起こりとも予想されています。万が一の災害に備え、防災用品を詰め込んだバックを用意している方もいらっしゃるのではないのでしょうか。でもそれだけで安心するのは、もはや不十分かもしれません。もし家が倒壊してしまってバックを持ち出せなくなってしまうたらどうでしょう？ 崩れた土砂や倒壊した建物で避難場所への道をふさがれてしまったらどうでしょう？防災用品を保管する防災倉庫を自宅の敷地内に設置していれば、より安全に自分や大切な命を守れるかもしれません。小さな倉庫で構いません、入れる優先順位は、各家庭によって違いますが、①飲料水・食料②生理用品・医薬品・トイレ袋③熱源・調理器具④衣類・寝具⑤電源・燃料⑥工具・救助用具などが考えられます。命を維持するための基本的な物資を優先し段階的に生活の安定に必要なものを備蓄していくことが大事です。 倉庫本体は、小さなものから大きなものまでありますが、10,000 円くらいからあります。 そんなことを含め以下質問します。
----------------------------------	---

	【質問事項】 ① 名古屋市のように、いっぺんに振った雨を各家庭で、少しでも貯められるよう、雨水タンクの助成はできないか。 ② 趣旨説明で述べたように、各家庭に防災倉庫（中身も含め）を設置するための助成はできないものか。
--	---